

事例2

< 事例概要 >

- ・ 80 歳代の患者。頭部打撲で日中に救急（脳神経外科）受診。
- ・ 脳神経外科医師の診察時、前額部打撲、皮下血腫あり。頭蓋骨骨折、頭蓋内出血の精査目的で頭部X 線撮影、頭部単純CT 依頼。
- ・ 画像上で頭蓋内には出血なく、皮下血腫のみ。頸部痛、手の痛みが残るも帰宅を指示。帰宅後、呼吸困難となり、意識消失、心肺停止状態で救急搬送。画像検査から約 8 時間後死亡。
- ・ 死因は頸椎の椎体前面の血腫による気道の圧排と閉塞。死亡時画像診断（Ai） 無、解剖 無。
- ・ 画像診断報告書は頭部CT のみに対して急変当日に作成。
- ・ 頭部X 線で頸椎前面の軟部組織陰影の拡大を認めた。